

**CASBEE-建築(新築)2014年版**  
**(仮称)福岡市中央区桜坂3丁目計画**

欄に数値またはコメントを記入

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2014年版  
 ■評価ソフト: CASBEE-BD\_NC\_2014(v.2.0)

スコアシート		実施設計段階		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目	環境配慮設計の概要記入欄	評価点	重み係数	評価点	重み係数			
<b>Q 建築物の環境品質</b>								<b>3.7</b>
<b>Q1 室内環境</b>			<b>0.40</b>		-			<b>3.6</b>
<b>1 音環境</b>		<b>2.0</b>	0.15	<b>3.1</b>	1.00			<b>2.7</b>
1.1 騒音		<b>3.0</b>	0.50	<b>3.0</b>	0.50			
1.2 遮音		<b>1.0</b>	0.50	<b>3.2</b>	0.50			
1 開口部遮音性能		<b>1.0</b>	1.00	<b>3.0</b>	0.30			
2 界壁遮音性能		-	-	<b>3.0</b>	0.30			
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)	界床遮音性能(軽量衝撃源) Lr-45	-	-	<b>4.0</b>	0.20			
4 界床遮音性能(重量衝撃源)		-	-	<b>3.0</b>	0.20			
1.3 吸音		-	-	-	-			
<b>2 温熱環境</b>		<b>1.8</b>	0.35	<b>5.0</b>	1.00			<b>4.0</b>
2.1 室温制御		<b>2.6</b>	0.50	<b>5.0</b>	1.00			
1 室温		<b>3.0</b>	0.63	-	-			
2 外皮性能	5-1断熱等性能等級4	<b>2.0</b>	0.38	<b>5.0</b>	1.00			
3 ゾーン別制御性		-	-	-	-			
2.2 湿度制御		<b>1.0</b>	0.20	-	-			
2.3 空調方式		<b>1.0</b>	0.30	-	-			
<b>3 光・視環境</b>		<b>3.2</b>	0.25	<b>4.0</b>	1.00			<b>3.7</b>
3.1 屋光利用		<b>4.2</b>	0.30	<b>4.0</b>	0.50			
1 屋光率	共用部:30.5% 住居部:10.6%	<b>5.0</b>	0.60	<b>5.0</b>	0.50			
2 方位別開口		-	-	<b>3.0</b>	0.30			
3 屋光利用設備		<b>3.0</b>	0.40	<b>3.0</b>	0.20			
3.2 グレア対策		<b>2.0</b>	0.30	<b>4.0</b>	0.50			
1 屋光制御	カーテン+庇(バルコニー)にて屋光制御	<b>2.0</b>	1.00	<b>4.0</b>	1.00			
3.3 照度		<b>1.0</b>	0.15	-	-			
3.4 照明制御	タイマーによる自動制御	<b>5.0</b>	0.25	-	-			
<b>4 空気質環境</b>		<b>3.6</b>	0.25	<b>3.3</b>	1.00			<b>3.4</b>
4.1 発生源対策		<b>4.0</b>	0.60	<b>4.0</b>	0.63			
1 化学汚染物質	F☆☆☆☆に建材の採用	<b>4.0</b>	1.00	<b>4.0</b>	1.00			
2 アスベスト対策		-	-	-	-			
4.2 換気		<b>3.0</b>	0.40	<b>2.3</b>	0.38			
1 換気量		<b>3.0</b>	0.50	<b>3.0</b>	0.33			
2 自然換気性能		-	-	<b>1.0</b>	0.33			
3 取り入れ外気への配慮		<b>3.0</b>	0.50	<b>3.0</b>	0.33			
4.3 運用管理		-	-	-	-			
1 CO <sub>2</sub> の監視		-	-	-	-			
2 喫煙の制御		-	-	-	-			
<b>Q2 サービス性能</b>		-	<b>0.30</b>	-	-			<b>3.4</b>
<b>1 機能性</b>		<b>2.8</b>	0.40	<b>4.4</b>	1.00			<b>3.9</b>
1.1 機能性・使いやすさ		<b>1.0</b>	0.40	<b>5.0</b>	0.60			
1 広さ・収納性		-	-	-	-			
2 高度情報通信設備対応	Gbitクラスのプロードバンド利用可能	-	-	<b>5.0</b>	1.00			
3 バリアフリー計画		<b>1.0</b>	1.00	-	-			
1.2 心理性・快適性		<b>5.0</b>	0.30	<b>3.5</b>	0.40			
1 広さ感・景観		-	-	<b>3.0</b>	0.50			
2 リフレッシュスペース		-	-	-	-			
3 内装計画	建物全体のコンセプトや機能が明確であり、事前に検証を行っている	<b>5.0</b>	1.00	<b>4.0</b>	0.50			
1.3 維持管理		<b>3.0</b>	0.30	-	-			
1 維持管理に配慮した設計		<b>3.0</b>	0.50	-	-			
2 維持管理用機能の確保		<b>3.0</b>	0.50	-	-			
3 衛生管理業務		-	-	-	-			
<b>2 耐用性・信頼性</b>		<b>3.1</b>	0.30	-	-			<b>3.1</b>
2.1 耐震・免震		<b>3.0</b>	0.50	-	-			
1 耐震性		<b>3.0</b>	0.80	-	-			
2 免震・制振性能		<b>3.0</b>	0.20	-	-			
2.2 部品・部材の耐用年数		<b>3.5</b>	0.30	-	-			
1 躯体材料の耐用年数	劣化対策等級3	<b>5.0</b>	0.20	-	-			
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔		<b>2.0</b>	0.20	-	-			
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔	床:塩ビシート(20年) 壁・天井:ビニルクロス貼り(20年)	<b>4.0</b>	0.10	-	-			
4 空調換気ダクトの更新必要間隔		<b>3.0</b>	0.10	-	-			
5 空調・給排水配管の更新必要間隔	給水:ポリエチレン管(B)、汚水・雑排水:VP(B)、Eは不使用	<b>5.0</b>	0.20	-	-			
6 主要設備機器の更新必要間隔		<b>2.0</b>	0.20	-	-			

2.4 信頼性	1	空調・換気設備	3.2	0.20	-	-	-
	2	給排水・衛生設備	3.0	0.20	-	-	-
	3	電気設備	2.0	0.20	-	-	-
	4	機械・配管支持方法	3.0	0.20	-	-	-
	5	通信・情報設備	4.0	0.20	-	-	-
		耐震クラスA 光ケーブル等通信の多様化、精密機器を地上階に設置等	4.0	0.20	-	-	-
<b>3 対応性・更新性</b>			<b>3.0</b>	<b>0.30</b>	<b>3.1</b>	<b>1.00</b>	<b>3.0</b>
3.1 空間のゆとり	1	階高のゆとり	-	-	3.2	0.50	-
	2	空間の形状・自由さ	-	-	4.0	0.60	-
		階高2.96m	-	-	2.0	0.40	-
3.2 荷重のゆとり			-	-	3.0	0.50	-
3.3 設備の更新性			3.0	1.00	-	-	-
		1 空調配管の更新性	3.0	0.20	-	-	-
		2 給排水管の更新性	3.0	0.20	-	-	-
		3 電気配線の更新性	3.0	0.10	-	-	-
		4 通信配線の更新性	3.0	0.10	-	-	-
		5 設備機器の更新性	3.0	0.20	-	-	-
		6 バックアップスペースの確保	3.0	0.20	-	-	-
<b>Q3 室外環境(敷地内)</b>			-	0.30	-	-	4.1
1 生物環境の保全と創出		比較的多くの取組みが、生物環境の保全と創出について行っている	4.0	0.30	-	-	4.0
2 まちなみ・景観への配慮		周辺のまちなみや景観に対して、充実した取組みを行っている	5.0	0.40	-	-	5.0
3 地域性・アメニティへの配慮			3.0	0.30	-	-	3.0
3.1 地域性への配慮、快適性の向上			3.0	0.50	-	-	-
3.2 敷地内温熱環境の向上			3.0	0.50	-	-	-
<b>LR 建築物の環境負荷低減性</b>			-	-	-	-	3.5
<b>LR1 エネルギー</b>			-	0.40	-	-	4.2
1 建物外皮の熱負荷抑制		5-1断熱等性能等級4	5.0	0.20	-	-	5.0
2 自然エネルギー利用			3.0	0.10	-	-	3.0
3 設備システムの高効率化		BEI 非住宅 1.00 住宅(専有部) 0.83	4.7	0.50	-	-	4.7
		集合住宅以外の評価(3a.3b)	3.0	-	-	-	-
		集合住宅の評価(3c)	4.7	1.00	-	-	-
		潜熱回収型給湯器、LED照明器具の採用	3.0	0.20	-	-	3.0
4 効率的運用			-	-	-	-	-
		集合住宅以外の評価	-	-	-	-	-
		4.1 モニタリング	-	-	-	-	-
		4.2 運用管理体制	-	-	-	-	-
		集合住宅の評価	3.0	1.00	-	-	-
		4.1 モニタリング	3.0	0.50	-	-	-
		4.2 運用管理体制	3.0	0.50	-	-	-
<b>LR2 資源・マテリアル</b>			-	0.30	-	-	3.0
1 水資源保護			3.0	0.20	-	-	3.0
1.1 節水			3.0	0.40	-	-	-
1.2 雨水利用・雑排水等の利用			3.0	0.60	-	-	-
		1 雨水利用システム導入の有無	3.0	1.00	-	-	-
		2 雑排水等利用システム導入の有無	-	-	-	-	-
2 非再生性資源の使用量削減			2.8	0.60	-	-	2.8
2.1 材料使用量の削減			2.0	0.10	-	-	-
2.2 既存建築躯体等の継続使用			3.0	0.20	-	-	-
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用		-	3.0	0.20	-	-	-
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用		-	1.0	0.20	-	-	-
2.5 持続可能な森林から産出された木材			2.0	0.10	-	-	-
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み		内装が乾式工法で分別が容易、PS・天井内配管で設備との錯綜回避	5.0	0.20	-	-	-
3 汚染物質含有材料の使用回避			3.7	0.20	-	-	3.7
3.1 有害物質を含まない材料の使用			3.0	0.30	-	-	-
3.2 フロン・ハロンの回避			4.0	0.70	-	-	-
		1 消火剤	-	-	-	-	-
		2 発泡剤(断熱材等)	5.0	0.50	-	-	-
		3 冷媒	3.0	0.50	-	-	-
		発泡断熱材はノンフロン製品を採用	-	-	-	-	-
<b>LR3 敷地外環境</b>			-	0.30	-	-	3.2
1 地球温暖化への配慮		LCCO2の排出率を参照値より抑制している	3.7	0.33	-	-	3.7
2 地域環境への配慮			2.9	0.33	-	-	2.9
2.1 大気汚染防止			3.0	0.25	-	-	-
2.2 温熱環境悪化の改善			3.0	0.50	-	-	-
2.3 地域インフラへの負荷抑制			2.7	0.25	-	-	-
		1 雨水排水負荷低減	3.0	0.25	-	-	-
		2 汚水処理負荷抑制	3.0	0.25	-	-	-
		3 交通負荷抑制	3.0	0.25	-	-	-
		4 廃棄物処理負荷抑制	2.0	0.25	-	-	-
3 周辺環境への配慮			3.1	0.33	-	-	3.1
3.1 騒音・振動・悪臭の防止			3.0	0.40	-	-	-
		1 騒音	3.0	1.00	-	-	-
		2 振動	-	-	-	-	-
		3 悪臭	-	-	-	-	-
3.2 風害、砂塵、日照阻害の抑制			3.0	0.40	-	-	-
		1 風害の抑制	3.0	0.70	-	-	-
		2 砂塵の抑制	3.0	-	-	-	-
		3 日照阻害の抑制	3.0	0.30	-	-	-
3.3 光害の抑制			3.7	0.20	-	-	-
		1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	4.0	0.70	-	-	-
		2 屋光の建物外壁による反射光(グレア)への対策	3.0	0.30	-	-	-
		光害チェックリストの一部を満たす、広告物照明がない	-	-	-	-	-